

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名: のびのびハウス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動目的に合わせて、利用者がゆっくり活動が出来る指導訓練室、1人で過ごしたい時に使用する個室、感覚統合や自由遊びが行えるプレイルームなど使用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			児童発達支援管理責任者1名、児童指導員または保育士含めて3名以上配置しています。また、送迎を行う支援員を確保しています。	職員の配置数について、ご契約時に説明を行っていますが、職員の異動もある事から、年度はじめなどにお便りでお知らせする事も検討していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関から移動は、浴室・和室・会議室を除き、段差をなくしています。また、車イスでも使用出来る多目的トイレを設置しています。	送迎用の車両にリフトを整備したいので、今後検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		午後から、スタッフ全員で、前日の療育の振り返りを行い、利用児の様子やスタッフの関わり方で気になった事を共有し、対応方法を検討しています。併せて当日の療育の打ち合わせを行い、利用児に合わせた関わり方やスタッフの動きなど確認して、療育に臨んでいます。	ミーティング時に、発言のあるスタッフと発言が少ないスタッフと差がある為、スタッフ同士が発言しやすくなる様に、ミーティングを見直ししていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人のホームページにて公開を行っています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者評価は受けていない。現在、当法人で検討中である。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に、スタッフが年1回は参加しています。また、こども総合療育センターの定期支援を受けています。それに併せて、内部研修も行い、スタッフのスキルアップを目指しています。	今後も、スタッフのスキルアップの為に、温泉病院の先生方や心理士にご協力頂き、研修会の実施やスタッフ間での内部研修を定期的に行うなど、研修内容の充実が図れる様に努めていきたい。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○		ニーズ表やチェックリストを保護者の方に記入して頂き、利用児の課題について整理しながら、計画の作成を行っています。	保護者からのニーズ確認は出来ているが、利用児からの聞き取りが不十分である為、出来るだけ児童からの聞き取りやアセスメントを行い、保護者・利用児両方からのニーズが確認出来るようにしたい。学校など、関係機関との連携を図りながら、多方面からの情報収集が出来るようにしたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		事業所独自のアセスメントツールを使用しています。(フェイスシート・ニーズ表・チェックリスト)	チェックリストなど、項目内容の見直しや改善が必要な為、内容の改善を検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		活動プログラム・スケジュールの担当スタッフが毎日のプログラムを作成を行い、児童発達支援管理責任者が確認を行っている。午後からの打ち合わせ時に、スタッフ全員と確認を行っています。	月の行事計画は、各担当スタッフが立案して、毎月行う事業所会議の際にスタッフ全員で検討しているが、毎日の主活動の立案については、見直しを行っている所である。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			創作活動や感覚統合の活動や、終日利用の時には施設外活動などを取り入れながら、色々な活動を計画しています。	活動内容やプログラムが固定化にならないように気を付けているが、利用児の課題や特性に合わせた活動の提供が行える様、活動プログラムの内容の検討・実施に努めていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		平日・休日・長期休暇に分けて設定はしていないが、活動によって、内容を工夫したり、施設外活動を計画して、終日利用でしか出来ない事に取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動や個別活動の取り組み、個別療育での取り組みなど、計画の内容に取り入れています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の活動リーダーを中心に毎日実施しています。主活動の内容、スタッフ配置、利用児の支援方法の確認など、スタッフ全員で共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			送迎に出ている事や早出のスタッフがいる場合もある為、支援終了後の振り返りは行わず、翌日の午後に行う打ち合わせの時間に、前日の振り返りを併せて行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			療育中や終了後に記録を取る事が難しい時もあるため、翌日に記録をとる様にしています。記録を見ながら振り返りを行う事や、個別療育時に保護者の方へお子様のグループ療育の時の様子をお話する際にも活用しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		6ヶ月に1回はモニタリングを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			体験的活動(創作活動・自然体験活動・地域生活体験活動等)、自立支援活動、感覚統合活動など様々な活動を行っています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が主に参画していますが、出来るだけ利用児の担当スタッフも一緒に参画できるようにしています。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校との情報共有は、必要に応じて行っています。新年度には、各学校に訪問を行い、コーディネーターの先生と送迎の打ち合わせを行っています。 (新年度の利用児の確認、送迎時の引き渡し場所の確認)		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		登録喀痰吸引等事業者として登録を受けており、主治医との連絡体制を整えています。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に利用していた児童発達支援事業所と情報共有を行っています。	就学前に利用していた保育園等との情報共有は行っていない為、今後、情報交換の場など検討していきたい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		小学校を卒業し、重症心身障害児施設へ入所となる利用児があり、施設より情報提供の依頼があった為、情報提供書を作成し、情報提供を行っています。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		こども総合療育センターより、定期支援や研修を受けています。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流の機会が無い為、今後は学童保育などを利用している子ども達との交流活動の機会が設定出来るか検討したい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加依頼が無いため、参加はしていない。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳にグループ療育時の様子を記入したり、送迎で来所された保護者の方へ様子をお伝えしています。また、個別療育を利用して頂き、事業所での様子だけでなく、保護者からご家庭や学校での様子もお聞きして、本人の課題や発達状況の共有を行っています。	個別療育の定期的な利用を保護者の方へお願いした事で、前年より個別利用の機会が増えた。今後も個別療育の利用を定期的に行う事で、保護者の方との情報共有が出来る様にしていきたい。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		個別療育時や面談など、ご家族の方と懇談する機会に、相談に応じ助言を行っています。	より良い家族支援が出来ることや、スタッフの支援スキルを向上させる為に、今後ペアレント・トレーニングの研修を検討したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に、支援内容や利用者負担、重要事項などをご説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳でのやり取り、電話連絡や、個別療育時に保護者の方からの相談へ助言をお伝えしたり、必要があれば面談の場を設けて対応しています。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			現在、保護者会等は立ち上がっていない状態だが、保護者の方からの要望もある為、今後保護者同士が交流出来る機会を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付対応の体制の整備は出来ており、苦情受付担当者も設けています。事業所の玄関に苦情受付ボックスを設置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月、お便りを発行している他、LINE@にてその都度、活動の様子をごまめに発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			お便りやLINE@での情報発信の際は、利用児の顔を加工して個人の特定が出来ない様に配慮しています。関係機関へ情報提供する場合は事前に保護者へ同意を得てから行う様にしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			日本語の理解が難しい保護者の方へ、連絡帳など記入する際は漢字を使わずひらがなで読みやすく記入する事や、直接書面を見て頂きながら説明を行う様にしています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			コロナ感染予防のため自粛していたが、今後は地域の住民の方と交流する機会を検討したい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			緊急時対応マニュアルを整備しており、マニュアルの提示を行っています。	各種マニュアルの保護者の方への周知は不足している。今後、保護者の方への周知の方法について検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に、防犯・災害訓練を利用児とスタッフと一緒にしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年1回以上は施設内研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			現在該当する利用児がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている		○		初回利用の前に、保護者の方から聞き取りを行い、確認を行っています。	現在該当する利用児がない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット案件があった際は、スタッフと話し合いの場を設け、原因の確認・対応策を早急に検討しています。ヒヤリハット書類を作成して、スタッフ回覧または打ち合わせ時に他スタッフと共有を図り、再発防止に努めています。		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名:のびのびハウス

保護者等数(児童数)28名 回収数:16名分 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15名	1名	0名		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12名	4名	0名	よく分かりません。年度初めにお便りでお知らせしてもらえると良いと思います。	要望があれば、随時事業所内の見学や説明を行いたいと考えています。また、お便りでの職員配置等の説明やお知らせ等を検討していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14名	2名	0名		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15名	1名	0名	計画を作成して頂いているが、子どもを迎えに行った時に荷物を整理せずに送り出される事が多いのが、気になります。	お帰りになる前のお子様の荷物片づけの際の支援方法について、再度スタッフ全員で確認、徹底して参ります。配慮が行き届かず、大変申し訳ございませんでした。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	13名	3名	0名	利用予定表を見る限りでは、活動プログラムが明確化されていない気がします。	利用児の課題や特性に合わせた活動の提供が行える様、活動プログラムの内容の検討・実施に努めていきます。また、保護者の方への活動プログラムのご説明も併せて検討いたします。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5名	10名	1名	・よく分かりません。 ・さらに利用児との交流等、コロナが収まったら交流が増えると思います。 ・コロナ禍でなければ、交流が出来ると思います。	今後、学童保育などを利用している子ども達との交流活動の場を検討していきたいと考えています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14名	2名	0名	より内容が明確化されたら、分かりやすいと思います。個別療育の時などに説明を受けたいです。	契約時にご説明を行っておりますが、ご説明の希望がございましたら個別療育時などにご説明致します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか	15名	1名	0名	連絡帳やLINE等を活用して、情報共有が出来ていると思います。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12名	4名	0名	事業所を利用し始めたばかりでよく分かりません。	個別療育の際の振り返りの時間や、ご要望があれば面談の場を設けて、保護者の方との情報共有や、ご相談に対する助言が行える様に努めていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2名	9名	5名	・そういった機会があったら強く希望します。保護者も心強いと思います。 ・コロナ禍でなければ、出来ると思います。 ・保護者同士の繋がりがない為、子どもの事で1人で悩む事が多いです。	保護者の方々からの要望も多く、今後保護者の方同士が連携出来る会や場を設けられる様に検討を行っていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9名	7名	0名		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14名	2名	0名		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15名	1名	0名		
	14 個人情報に十分注意しているか	16名	0名	0名		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7名	6名	1名	避難訓練の日程は把握できるが、避難先やもしもの場合の対応方法の説明が欲しいです。	今後、保護者の方へのマニュアルの配布やご説明を行う機会を検討していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12名	3名	0名	・事業所にお任せしています。 ・利用日が各々なので、全員が1年に1回は必ず実施出来る配慮があると良いと思います。	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13名	3名	0名		
	18 事業所の支援に満足しているか	14名	2名	0名	・毎回、利用を楽しみにしています。お世話になってますので、安心して仕事が出来ています。活動プログラムの『感覚遊び』『感覚遊び』の違いが良く分からないので、プログラムの明確化や普段どのような療育がされているのか、参観日など設けても良いと思います。 ・色々な取り組みを考えて頂き、ありがとうございます。日々成長していき、悩んだり、疑問に思う事に助言してもらい、助かっています。	保護者の方々からの貴重なご意見ありがとうございます。ご利用児、保護者の方がご満足頂ける支援を提供出来るよう、努めて参ります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されている。